

広報 温か味、おとどけ。

おいしだ

大石田町



2019



No.759

いつまでもお元気で
大石田町のご長寿紹介

P2～3

平成30年度大石田町決算

P4～5

■表紙写真

大石田中学校運動会（9月8日）
生徒163人が紅白に分かれ、全力で
競い合いました。

9月16日は敬老の日です。大石田町には、数えで88歳以上になる方が497人いらっしゃいます。そこで、数えで百歳以上の方とめでたく白寿、米寿を迎えられた皆さんを紹介します。これからも元気で過ごしてください。(敬称略・生年月日順、町賀寿対象者のみ掲載。施設入所の方は、転居前の地区を掲載しています。)

大石田町のご長寿紹介

【数え104歳】 小内スエ(上宿)
 【数え102歳】 板垣トミ(栄町)
 【数え101歳】 柏倉利三郎(豊田)
 【数え100歳】 工藤スズエ(海谷)
 海藤善四郎(大浦)
 木村ハル(黒滝)
 高橋ハル工(小菅)
 横山秀策(里)

【数え99歳】 白寿
 今田文子(緑町)
 須藤とみ糸(白鷺)
 小野次江(鷹巣2)
 齊藤キミ(愛宕町)
 熊谷サダ工(上宿)
 高橋タカ(下宿)
 星川千代(駒籠)
 八木ミツ工(上ノ原)
 黒沼以津枝(朝日町)
 矢作サキ(東町)
 齋藤ミドリ(四日町)

森山トミ(庚申町)
 阿部なをえ(里)
 八上ヤイノ(上ノ原)
 井上マスエ(下宿)
 【数え88歳】 米寿
 加賀美喜子(二丁目)
 山田工シ(東町)
 小野モヨ工(愛宕町)
 井上とみ子(栄町)
 五十嵐隆司(八幡町)
 佐々木トメヨ(鷹巣2)
 芳賀雄司(豊田)
 大場幸子(佐田町)
 奥山チヨ(里)
 早坂チ工(岩ヶ袋)
 早坂久子(岩ヶ袋)
 武田キミ子(白鷺)
 小内光子(来迎寺)
 早坂リキ子(岩ヶ袋)
 高橋和夫(坂ノ上)
 青木アサ子(大浦)
 阿部春美(坂ノ上)
 高梨光子(新山寺)
 関梨誠子(田沢上)
 早坂泰雄(岩ヶ袋)

熊谷オツネ(上宿)
 高橋オトヨ(田沢下)
 高橋キミエ(新町)
 高橋富子(来迎寺)
 高橋スツ工(朝日町)
 大藤キミ工(田沢下)
 仁藤スツ工(朝日町)
 斉藤利夫(緑町)
 海藤ツル工(駒籠)
 梁川サヨ(上ノ原)
 山科信子(鷹巣3)
 関サダコ(小菅)
 阿部千代子(八幡町)
 卯野夕子(緑町)
 八野夕子(上ノ原)
 八野夕子(上ノ原)
 星川タカ子(駒籠)
 山科忠芳(鷹巣2)
 齋藤力ネ(鷹巣2)
 井上良一(鷹巣2)
 井上睦子(田沢下)
 関京子(小菅)
 石川誠子(来迎寺)
 近江昭誠(曙町)
 工藤俊江(海谷)
 有路米江(井出)
 鈴木吉五郎(庚申町)
 渡會洋子(四日町)
 早坂乙江(岩ヶ袋)
 奥山熊吉(里)
 三浦サト子(鷹巣2)
 三浦シマ工(鷹巣3)

奥山米子(坂ノ上)
 有川フチ子(来迎寺)
 高橋利子(上宿)
 植松利子(上宿)
 小内哲郎(次年子宿)
 森内隆男(川前)
 井藤キヌ子(佐田町)
 佐藤キヌ子(田沢上)
 笹原ふみよ(田沢上)
 齋藤キクヨ(豊田)
 高橋俊一(朝日町)
 高橋志磨子(川前)
 井藤志磨子(川前)
 鍛冶研一(川端)
 石川照雄(里)
 榎本マサ子(二丁目)
 榎本マサ子(鷹巣1)
 佐藤清一郎(里)
 横山清一郎(朝日町)
 高橋陽子(朝日町)
 高橋教子(上ノ原)
 高橋教子(上ノ原)
 佐々木艶子(駒籠)
 海藤艶子(駒籠)
 早坂武子(鷹巣2)
 横山良一(岩ヶ袋)
 植松京子(里)
 井上祐吉(上宿)
 村上正吾(庚申町)
 村上一正(鷹巣2)
 名岡イセヨ(鷹巣2)
 八木マサ子(鷹巣2)
 八木マサ子(上ノ原)
 西塚順吉(岩ヶ袋)
 荒井キミ(東町)

9月16日 敬老の日

いつまでもお元気で!! 大石田町のご長寿

満100歳 おめでとう!

今年めでたく満100歳を迎えられた柏倉 利三郎さん、工藤 スズエさん、海藤 善四郎さんに、長年にわたり社会の発展に寄与したことを感謝する内閣総理大臣からのお祝い状と記念品が9月11日(水)に庄司町長から手渡されました。(施設入所の方は、転居前の地区を掲載しています。)



柏倉 利三郎さん(豊田)
 なんでもよく食べ、大の温泉好き。
 難しい字もすらすら読みます。



工藤 スズエさん(海谷)
 本を読むのが大好きで、
 なんでもよく食べるそうです。



海藤 善四郎さん(大浦)
 毎日の晩酌を欠かしません。来月はひ孫
 の運動会のため、東京へ行かれるそうです。

平成30年度歳入歳出決算額及び対前年度比較表

(単位：千円、%)

区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入		歳出		
			前年度比較	増減率	前年度比較	増減率	
一般会計	5,496,969	5,286,039	△ 602,251	△ 9.9	△ 641,456	△ 10.8	
特別会計	国民健康保険	936,097	845,110	△ 157,623	△ 14.4	△ 145,802	△ 14.7
	次年少簡易水道	4,792	4,792	△ 302	△ 5.9	△ 302	△ 5.9
	学校給食事業	85,788	85,788	△ 734	△ 0.8	△ 734	△ 0.8
	農業集落排水事業	92,626	92,625	△ 2,346	△ 2.5	△ 2,348	△ 2.5
	介護保険	951,809	901,020	△ 197	△ 0.0	△ 24,050	△ 2.6
	後期高齢者医療	89,452	88,429	3,644	4.2	3,226	3.8
一般会計 + 特別会計	7,657,533	7,303,803	△ 759,809	△ 9.0	△ 811,466	△ 10.0	

財政指標等でみる町の財政状況

財政力指数

平成30年度 0.241
平成29年度 0.236

? 財政力指数

標準的な行政サービスを提供する経費のうち、町が自前で調達できる財源(町税や使用料等)がどのくらいかを表した数値。1に近いほど自前で資金を調達でき、財源に余裕があるということを示しています。

大石田町では財源の約24%を自前で調達し、残りを国や県に依存していることを表しています。

実質公債費比率

平成30年度 9.6%
平成29年度 10.1%

? 実質公債費比率

町の財政規模に対して、公債費(借金返済額)に相当するものなどがどれくらいの割合なのかを示す比率です。

25.0%を超えると国または県の管理下で財政運営をすることになります。

将来負担比率

平成30年度 105.9%
平成29年度 106.7%

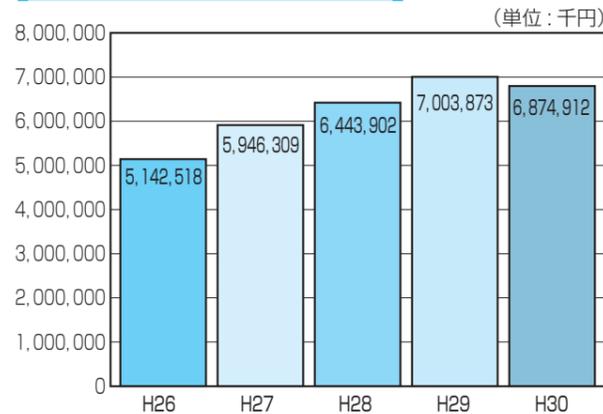
? 将来負担比率

町の財政規模に対して町が将来支払っていく負担等を表す比率です。

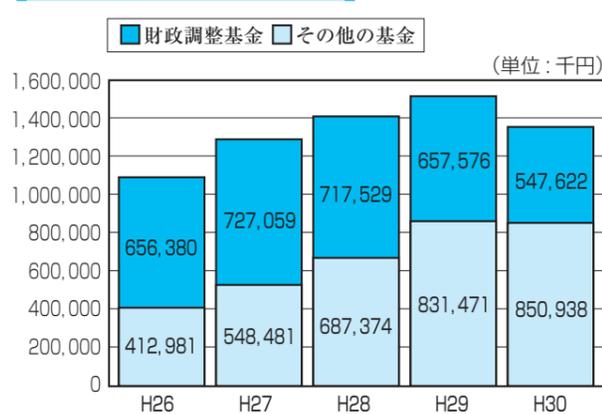
350.0%を超えると国または県の管理下で財政運営をすることになります。

*実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため比率がありません。また、簡易水道特別会計、農業集落排水事業特別会計の資金不足額はありません。

町債残高(普通会計)の推移



町の基金(貯金)の推移



? 財政調整基金・その他の基金

財政調整基金とは、経済不況等による大幅な税収減や災害の発生などにより思わぬ支出の増加に備えて、財源に余裕のあるときに剰余金などを積み立てておくものです。その他の基金とは特定の目的のために資金を積み立てておくものです。

平成30年度大石田町

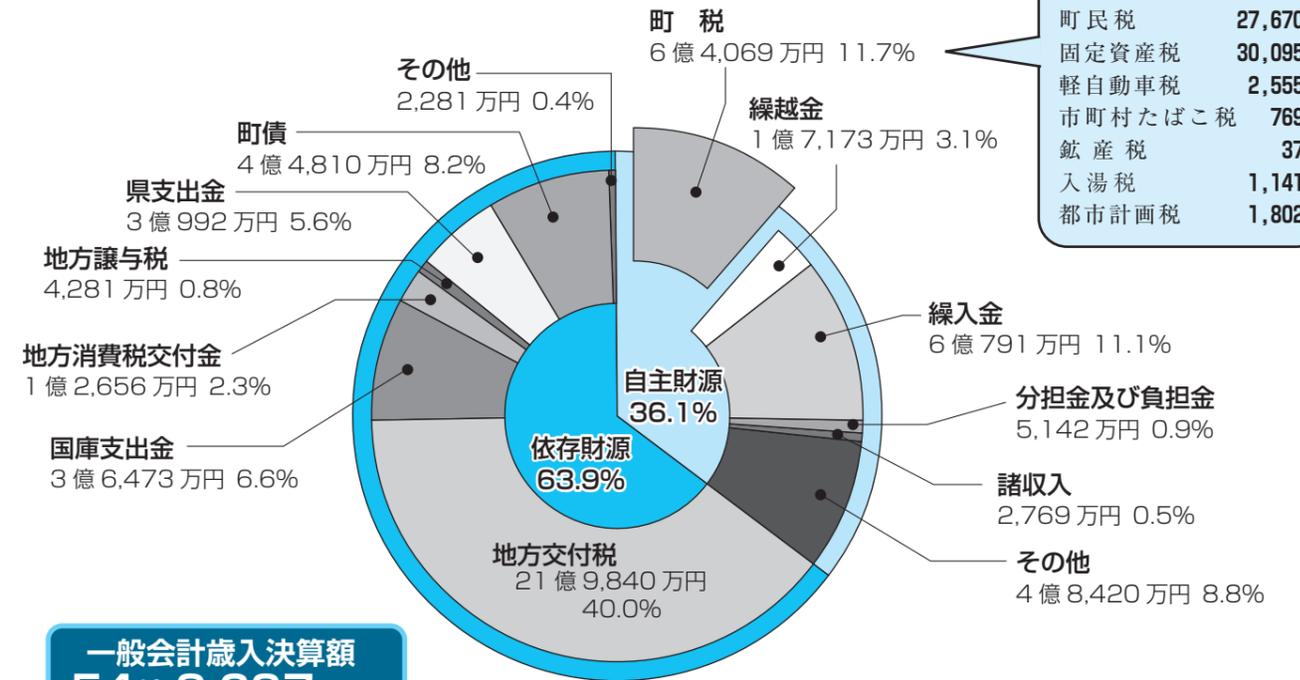
決算

町議会9月定例会において平成30年度の大石田町決算が承認されました。町の予算は、町民の皆さんが納めた税金をはじめ、国や県からの補助金や地方交付税などで構成されています。

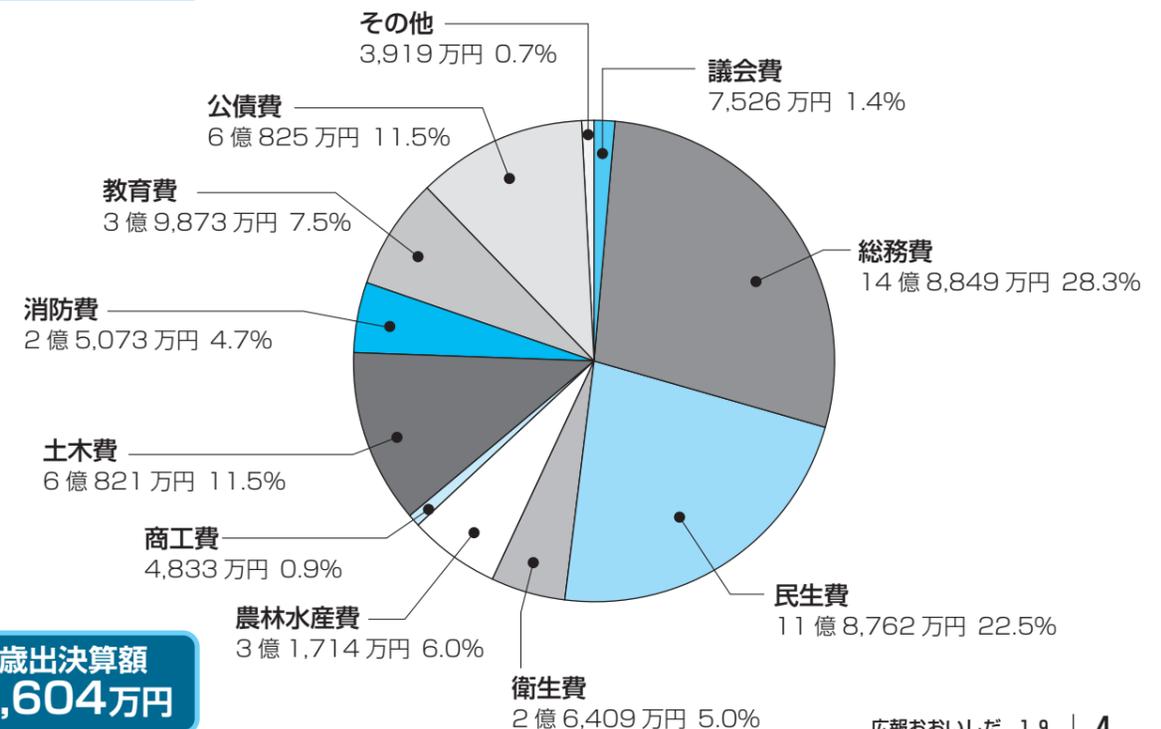
財源の内訳や町に入ってきたお金がどのように使われたのか、一般会計および特別会計の決算についてお知らせします。

町税内訳(万円)

町民税	27,670
固定資産税	30,095
軽自動車税	2,555
市町村たばこ税	769
鉱産税	37
入湯税	1,141
都市計画税	1,802



一般会計歳入決算額
54億9,697万円



一般会計歳出決算額
52億8,604万円

インターハイ優勝の海藤さん 東日本大会入賞の保芦さんが活躍を報告

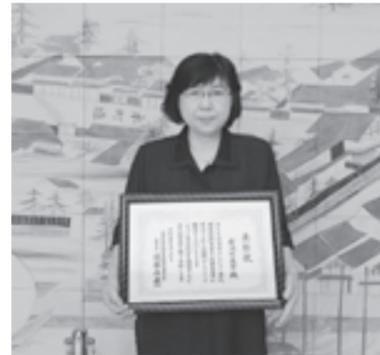


海藤優さん(天童高校3年)

全国高校総合体育大会(インターハイ)弓道女子団体が優勝した天童高校3年海藤優さん(駒籠)と、東日本都道府県小学生陸上競技交流大会の6年1500メートルで3位に入賞した保芦摩比呂さん(大石田北小・大浦)が、9月5日(木)に役場を訪れ、町長や教育長に大会での活躍を報告しました。

海藤さんは、初出場のインターハイでチームの中心選手として活躍し、全国制覇の立役者となりました。海藤さんは優勝について「応援してくれる町の皆さんの支援に結果で応えることができよかった」と話し、保芦さんは「上には上がいることが分かった。中学校でも陸上を続け、記録を伸ばしたい」と話していました。

有川千恵子さんに 山形県国保連合会会長表彰



このたび、有川千恵子さん(下宿)が山形県国民健康保険連合会会長表彰を受けました。これは有川さんが町国民健康保険運営協議会の委員として、多年にわたり国保財政の健全運営や町民の疾病予防に尽力された功績が認められたものです。大変おめでとうございます。

桐井義人さん(庚申町) ミニ「さざえ堂」を町に寄贈



会津さざえ堂

江戸時代後期に建立された平面六角形の三層構造の建造物。内部に、上り・下りが別々の二重らせんの通路がある珍しい建築様式で、国の重要文化財に指定されています。

桐井義人さん(庚申町)が町に「会津さざえ堂」の8分の1サイズの模型を寄贈しました。「ミニさざえ堂」は、桐井さんが9年ほど前に、およそ2年の歳月をかけて完成させたもの。制作にあたって現地を2度訪れて細部の寸法を測り、関数を駆使して図面を起こすなどしたという大作。このたび、多くの町民に見てもらいたいという桐井さんの意向で町に寄贈いただきました。

ミニさざえ堂は、10月20日(日)まで虹のプラザ2階に展示しています。その後は、クロスカルチャープラザ展示室で展示(新そばまつりの際は無料開放)されますので、ぜひご覧ください。

町食生活改善推進員連絡協議会 東北地方郵便局長会 町立図書館に図書寄贈



2つの団体が、町立図書館に図書を寄贈しました。

8月20日(火)には、町食生活改善推進連絡協議会(長沢依子会長)が教育長室を訪れ、本多教育長に目録を手渡しました。同会からは食育と食生活に関する本30冊を寄贈いただいています。

また、9月4日(水)には東北地方郵便局長会のメンバーが役場応接室を訪れ、庄司町長に目録を手渡しました。寄贈されたのは幅広い分野の一般書230冊で、荒木尚人・間沢郵便局長は「多くの町民に手に取ってもらえればうれしい」と話していました。寄贈いただいた本は図書館に展示されていますので、ぜひご活用ください。

3歳児健診でむし歯のなかった子 を紹介します

～4月から6月生まれの3歳児

3歳児健康診査が7月26日(金)に保健センターでおこなわれ、平成28年4月から6月生まれの3歳児が健診を受けました。そのうち、むし歯のなかった8名を紹介します。乳歯は生え変わりますが、きれいな永久歯になるためには乳歯を健康にしておくことが大切です。毎日『食べたらみがく!』の歯磨き習慣を心がけましょう。



◎ふたば保育園 写真左から

芳賀 玲矢くん(豊田)
庄司 総一郎くん(南通)
鈴木 峻太くん(愛宕町)
森 飛我くん(井出)

◎ふたば横山保育園 写真左から

高橋 丞くん(来迎寺)
長瀬 景大くん(上ノ原)



◎大石田保育園

早坂 蓮くん(岩ヶ袋)



笹原 悠正くん(岩ヶ袋)

ニュース 玉手箱



自分の考え、堂々と



高橋杏莉さん

高橋由衣さん

第 58回山形県少年の主張尾花沢大石田地区大会が9月4日（水）に尾花沢市の玉野中学校で開催され、大石田町と尾花沢市の中学生7人が中学生らしい視点で自分の考えを発表しました。

大石田中学校からは、高橋杏莉さん（3年）と高橋由衣さん（3年）が出演し、堂々とした発表を行いました。杏莉さんは「後悔から学んだ今」という論題で、由衣さんは「本気が与えてくれたもの」という論題で、それぞれが自身の経験から感じたことや考えを力強く主張しました。中学生の堂々とした主張に、会場からは大きな拍手が送られていました。

自慢のペそら一堂に

大 石田町発祥のペそら漬を次の世代に受け継ぎ、特産品として町内外に発信することを目的とした「我が家自慢のペそら漬コンテスト」が9月2日（月）に役場大会議室で行われました。

コンテストには12の家庭のペそら漬が出品され、町内の漬物店やそば店の店主などの審査員が漬物の色、辛さや塩気などの味と噛み応えなどを審査し、「辛い！」と汗をかきながら、ひとつひとつを味わって点数をつけていました。入賞した家庭のペそら漬は10月26日（土）27日（日）に行われる新そばまつりに出展され、味見することができます。



第8回我が家自慢のペそら漬コンテスト審査結果

最優秀賞 芳賀 好一さん（豊田）
優秀賞
 大山 和子さん（海谷） 香坂 明さん（仲通）
 鈴木 隆行さん（仲通） 鈴木 トシノさん（田沢下）
 村岡 みゆきさん（鷹巣1） ※優秀賞は50音順

プロジェクト「虹」第2回公演

町 内で活動する演劇団体「プロジェクト『虹』」（織江尚史代表）の第2回公演「べっかんこ鬼」が、8月25日（日）に虹のプラザ多目的ホールで上演されました。

今回の公演では、子どもたちにも演劇に親しんでもらおうと、シンプルなストーリーの芝居が上演され、心優しい鬼と盲目の少女が引かれあう、分かりやすい物語でありながら、深いテーマを持った作品を町民が熱演しました。公演は昼夜2回行われ、子どもから大人まで訪れた多くの観客が、昔ばなしのような世界に引き込まれていました。



スポーツ通じ交流楽しむ



老 人クラブ連合会主催の「老人クラブ体育レクリエーション大会」が、9月13日（金）にクロスカルチャープラザ多目的コートで開催されました。この大会は、スポーツを通じて健康の増進を図り、人と人とのふれあいの輪を広げようと、毎年開催されています。

約200人の参加者は、ワナゲや地区対抗のグラウンドゴルフフリー、まり入れなどの競技と花笠踊りなどを通して交流の輪を広げていました。競技の合間には、大石田保育園の園児による鼓笛隊演奏の披露も行われ、会場を盛り上げていました。

正確な消防操法競う

令 和元年度山形県消防協会北村山支部操法大会が、村山市の村山市民会館駐車場で9月8日（日）に開催されました。大会には北村山3市1町の審査会を勝ち抜いた消防団8隊が出場し、ポンプ車の部と小型ポンプの部それぞれでポンプの取扱いや放水作業の正確さを競いました。

大石田町からは、小型ポンプの部に第4分団第2部第1班（大浦）、ポンプ車の部に第2分団第2部第1班（本町）がそれぞれ出場しました。審査の結果、本町は優秀賞（第2位）、大浦が第3位で、総合の部で大石田町消防団は第3位となりました。

十五夜の伝統行事を体験

十 五夜の伝統行事を楽しむイベントが、にじっこひろばで9月13日（金）に開催されました。これは、町内にも残る十五夜の行事を若い世代にも体験してもらおうと企画されたものです。イベントでは参加した子どもとその保護者約20人が、お月見にまつわる歌を一緒に歌って楽しみ、月の満ち欠けに応じた名前などを教わりました。その後、子どもたちは施設の外に出て、社会福祉協議会や虹のプラザ事務室などを「豆あげだがは〜」と訪ね歩き、お菓子などをもらう、昔ながらの芋名月の行事を楽しみました。



2
1
2
1
1
（本町）
ポンプ車の部

4
1
2
1
1
（大浦）
小型ポンプの部

大石田町町民交流センター
虹のプラザ 人気アニメ「ルパン三世」テーマ曲作曲者・大野雄二
 によるジャズコンサートを開催！

大野雄二 トリオ
**LUPINTIC
 JAZZ CONCERT**
 ルパンティック
 ジャズ コンサート



©モンキーパンチTMS・NTV

開演：午後6時30分／開場：午後6時

大石田町町民交流センター
「虹のプラザ」多目的ホール

999-4112 山形県北村山郡大石田町緑町28番地
 ☎0237-35-2094

令和元年
11.9 土

■主催／大石田町教育委員会

◎入場料(全席自由)

前売券／一般：2,000円 高校生以下：1,000円 (当日券／一般：2,500円 高校生以下：1,500円)

◎チケット発売日／9月30日(月)午前8時30分から

◎チケット販売所／大石田町町民交流センター「虹のプラザ」事務室

販売時間：午前8時30分～午後7時、木・日・祝：午前8時30分～午後5時15分

※電話予約も可能です。(予約後10日以内にお支払いとチケット引換をお願いします。)

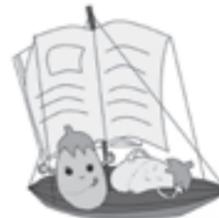
●未就学児の同伴・
 入場はご遠慮ください。
 ●車いす席が必要な方は、
 大石田町町民交流センターまで
 お問い合わせください。



まちとしよ

～大石田町立図書館 infomation～

＼きてけらっしやい／



☎ 35-3877 大石田町町民交流センター「虹のプラザ」内
 公式HP <http://niji.town.oishida.yamagata.jp/library/>

■開館時間 午前9時～午後7時(日曜日・祝日は午前9時～午後5時)

■休館日 毎週木曜日・特別整理期間ほか 《10月の休館日》3日(木)・10日(木)・17日(木)・24日(木)・31日(木)

大石田・尾花沢・村山・東根の4つの公共図書館のスタンプを集めよう！
北村山図書館スタンプラリー開催

開催期間

9/1 日～10/31 木



リレー
 おはなし会
 同時開催



4つの図書館をめぐるスタンプを集めよう！全部集めると素敵な景品をプレゼント★スタンプラリーに合わせて、リレーおはなし会も開催中です。今年の秋はみんなで図書館へ行こう！

- 景品：オリジナル菜&各館が用意した景品(先着順、なくなり次第終了)
- スタンプカードは各館で配布します。
- スタンプをもらう際、各館の利用カードが必要です。
- お持ちでない方はその場で発行できますので、各図書館にお問い合わせください。

＜スタンプ設置図書館＞

大石田町立図書館(虹のプラザ)・尾花沢市民図書館(悠美館)
 村山市立図書館(艶葉プラザ)・東根市図書館(まなびあテラス)
 ※休館日・開館時間等は各図書館によって異なります。

＜期間中の展示＞

- 大石田町立図書館展示「母なる最上川と大石田」
- 尾花沢市民図書館展示「尾花沢関連の本展示」
- 村山市立図書館「小学校百年誌にみる『村山市の学校』」
- 東根市図書館「山形県内ゆかりの作家」

「おいしいおはなし」をテーマにおはなし会をしています。親子でぜひどうぞ♪
 10/5(土) 大石田町立図書館(虹のプラザ)
 10/27(日) 東根市図書館(まなびあテラス)
 どちらも午前10時30分～

今月は、どの**本**を読む？

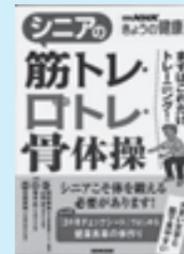
— 新着図書からピックアップしてご紹介します —

公式HPから新着図書が見られます



『ヴェールドマン仮説』
 (西尾 維新著、講談社刊)

おじいちゃんは推理作家、妹はVR探偵。名探偵一家のサポートに徹するんだけど、ある日強烈な「首吊り死体」を発見し、連続殺人事件を追うことに。西尾維新最新作。



『シニアの筋トレ・ロトレ・骨体操』
 (荒井 秀典ほか監修、NHK 出版刊)

シニアこそ、体を鍛えよう！基本の「筋トレ」から、好物を食べ続けるための「ロトレ」、骨を強くする「骨体操」まで、無理なく取り組めるトレーニングを紹介。わかりやすい図解付き。

『ベスト・エッセイ』

(日本文藝家協会編、光村図書出版刊)

身近な言葉で綴られた、時代の記録。日々の雑感、考察、失敗談から、亡くなられたあの方への追悼文まで。ジェーン・スー、杉江松恋、穂村弘、小暮夕紀子、黒井千次ら、一流文筆家の名文を収録したエッセイ・アンソロジー。



『わたしたちの暮らしと国土 5
 雨・雪が多い土地の暮らし』
 (井田 仁康監修、金の星刊)

日本の気候や地形にあわせた人々の暮らしをテーマにしたシリーズ。5は「雨・雪が多い土地の暮らし」について、地理や産業、歴史、文化などを写真とともに解説。



※すべて町立図書館蔵書



地域おこし協力隊コラム 大石田町エトペソラ

大石田町に住み始めて間もなく半年が経とうとしています。この半年間でいくつもの初体験をさせて頂きました。カヌーに乗ったり、田植えをしたり、カブトムシを捕まえたり。32年間で経験したことのない多くのことを経験させて頂いています。

大石田で体験した話を町の方にするとだいたい驚かれてこんな言葉が返って来ます。『え？したことないの！？』皆さんには日々の日常だったり、子供の頃に体験済みの経験でも私にとっては全部初体験！とても楽しくて、毎度喜んでイベントに参加させて頂いています！

そんな大石田で体験した中でも、私が一番驚いた初体験を紹介します。

町のイベントでカヌーに参加した際に、草の中をガサガサニヨロニヨロ動く物体が…。なんとそこには野生の蛇がいました！役場の方が子供達に見せようと奮闘し、ようやく捕まえた蛇、子供達はびっくりと恐怖であまり近づこうとせませんでした。私は初めて生で見る蛇に大興奮！蛇をお借りして、首に巻いたりしてました。私のハシヤグ姿に子供達は笑って、蛇を首に巻いた姿を見た保護者の方達はちょっと引いていましたが、笑ってくれていました。

こんな経験ができる大石田町って本当に面白くて良いところですよ!!(大野)



SNSで大石田町のエトペソラを発信中!! / ブログ・Facebook「大石田町エトペソラ」/ Instagram「oishida_et_pesora」

新そばまつり

新そばの収穫を祝い、大石田のそばを広く知っていただくため、今年も新そばまつりを開催します。会場では町特産の「来迎寺在来」を使った打ちたての「新そば」を味わえるほか、物産展や抽選会、町の伝統芸能の披露も行われます。

◆日時 10月26日(土)・27日(日)
両日とも午前11時～午後1時30分
午前10時より整理券配布
※整理券の順に入場できます。

◆会場 クロスカルチャープラザ「桂桜会館」
★そばを食べるにはチケットが必要です。(有料)
前売券 1,200円(当日券1,400円)
チケット1枚にはそば引換券が2枚付いていて、引換券1枚で「そば」または「そばがき」を1杯食べられます

★前売券好評発売中!
★町内の前売券発売箇所は左記のとおりです。
役場産業振興課・JA大石田営農センター・町商工会・あったまりランド深堀・JR大石田駅観光案内所・大石田そば街道振興会各店・山形銀行大石田支店・新庄信用金庫大石田支店・北郡信用組合大石田支店

■かおり風景100選「大石田町そばの里」推進協議会事務局
役場産業振興課 商工観光グループ Tel.35-2111 内線145・146

10月の主な行事予定

日	行事予定
5(土)	紙類・廃タイヤ・廃バッテリー・小型家電回収 / 午前6時30分～午前7時30分 / 役場駐車場 赤い羽根共同募金オープニングセレモニー / 午前10時 / 虹のプラザ
6(日)	クリーンアップおおいだ / 午前6時 / 町内一円
7(月)	母子健康手帳交付 / 午後1時30分 / 役場相談室
8(火)	大石田町民大学 / 午後7時～午後8時30分 / 虹のプラザ中会議室 テーマ「お～いしだチョイス!」講師：ミッチーチェン氏
9(水)	心配ごと相談 / 午後1時30分～4時 / 社会福祉協議会 行政相談 / 午後1時30分～3時30分 / 虹のプラザ小会議室
10(木)	年金相談 / 午前10時～午後3時 / 役場 101 会議室 ※新庄年金事務所への事前予約が必要です。Tel.0233-22-2050
14(月)	大石田町スポーツレクリエーションフェスティバル ・総合開会式 / 午前7時30分 / 大石田中体育館 ・勤労者ソフトボール大会 / 大石田中グラウンドほか ・町民グラウンドゴルフ大会 / 町スポーツ広場 ・スポーツ少年団のつどい(ドッジボール大会) / 大石田中体育館
20(日)	大石田町防災訓練 / 午前8時30分～正午 / 上ノ原地内
21(月)	母子健康手帳交付 / 午後1時30分 / 役場相談室
23(水)	県美展大石田巡回展(～10月28日) / 午前9時～午後7時(最終日は正午まで) / 虹のプラザ
25(金)	農業委員会総会 / 午前10時 / 大会議室 大石田町金婚祝賀記念式典 / 午前10時30分 / JA大石田営農センター
26(土)	新そばまつり / 午前11時～午後1時30分 / クロスカルチャープラザ
27(日)	新そばまつり / 午前11時～午後1時30分 / クロスカルチャープラザ

※都合により日程が変わる場合もありますので、事前にお問い合わせください。

死亡事故ゼロ1338日目

(9月15日現在)

大石田町の事故発生状況

(1月1日～9月15日)

●発生件数	10件 (±0件)
●負傷者数	11人 (-2人)
●死亡者数	0人 (±0人)

※()は前年比

【秋の交通安全県民運動】実施中!
実施期間 9月21日(土)～9月30日(月)
毎月1日は「大石田町交通安全行動の日」

日曜・休日急患の当番医

10月 診療時間：午前8時30分～午後5時

日	当番医院名	電話
6(日)	後藤 医院	(35)2034
13(月)	尾花沢市中央診療所	(23)2010
14(月)	おくやま内科医院	(24)0980
20(日)	吾妻クリニック	(35)2021
22(日)	清治 医院	(23)2125
27(日)	伊藤クリニック	(23)3350

家族の健康管理に気をつけて

あなたのニギハヤク

短歌

小母ちゃんが電車に乗って席をとるバッグの中の大根のぞかせ
親鳥の通れるほどの窓あける家主の気配り子つばめにあり
幾度か夜半に目覚め歌うかぶ筆とりながら辞書をひきたり
痛む歯に寝転ぶ夏の昼下がりに明日の予約のキャンセルをする
八十の顔にシワ増えシミも増え進む老化におどろくばかり
京都なる三百余人の大歌会わが歌二分の評受けしのみ(捲全国大会)
じゃが芋を百個は植ゑしおさな等はカレイ好きらし掘る日真夏日
頭上には薄雲とほす夏陽あり草ひくわれに天気雨落つ
風船を紐にくくりて山小屋の広場に飾る「山の日」今日は

俳句

草相撲茎花引き合ふ孫二人
紫蘇の実や摘む手に香り移りけり
いがくりの少年愛すねぎ坊主
虫いざや雨の晴れ間に生れ鳴けり
背丈こす畑の雑草鎌で刈り
雨上がり蒔き時今と大根種
エプロンの袖口濡らす今朝の露
花火終へ間につつまる最上川
琴の音を馳走せる秋別れかな

星 土 齊 木 柏 榎 五十 青 青
川 屋 藤 村 倉 本 嵐 木 木
紀 忠 静 満 ヤス 杉 隆 ミ 宙
一 郎 子 子 喜 香 香 司 紗 女 翁

『おおいしだの」とむがすあつたけど⑤』



「まだまだ、まだまだ。」と申されるので、おんぶしてきたそうだと、村の入り口に辻堂があり十王様を祀つてある所までくると、「ここであえ、ここであえ。」と申されるので辻堂の前におろし、皆で手を合わせお別れして帰つたそうだと。

それぞれの若い衆が家に着くなり、今日の出来事を話すと、またたくまに村中に広がりおさわわぎになつたそうだと。村の親方衆はじめ村中が集まり相談し、お寺の和尚さんに頼んでおんぶしてきた仏体を、浄水(きれいな水)で洗い清めたところ、立派なお地藏様であつた。和尚さんは、「苦勞なされてよくここまでたどりつかれた。お地藏様に風邪などひかれては大変だ。きれいな孤(あらく折つたむしろ)をお着せして十王様と一緒に祀ろう。」とありがたいお経をあげたそうだと。

その夜は、村中総出でかがり火をたいて通夜したと言ひ伝えられている。五十年前前までこの行事が続いていた。

今でも旧九月十六日(満月の日)は地藏様の大祭日としている。

延享時代、大石田町大庄屋高桑金蔵様の一人娘が大病にかかり、八方の名医にかかっても助かる見込みはないと診断されたそうだと。

ある夜のこと、大庄屋の枕元に地藏様が立ち寄り、「ぜんざい、ぜんざい、これなる私は、いつぞや、あなたの若い衆に難儀のところを助けられた地藏なるぞ。これより子育て地藏となり、あらゆる慈悲と念力をもつてあなたの娘を助けてしんぜよう。」と申されてすつと消えたそうだと。大庄屋は夜の明けるのを待たずに普門寺へ参り、祈禱を受け、一心に精進され、祈願されたそうだと。その甲斐あつてか、娘は日増しに元氣を取り戻し丈夫に成長したという。

高桑家はお礼にと改めて井出子育て地藏堂を建立し、辻堂の十王様と一緒に安置し再興されたと棟札に書いてある。

現在の堂宇は、昭和三十一年秋の台風で倒壊し、再々建したのである。幸いにして地藏尊本体等には少しの損傷もなかった。

○出典『大石田の」とむがす』(大石田の」とむがすの会発行)

「まだだ、まだまだ。」

今から三百四十年ほど前(延宝時代)のこと。その年の秋は、長雨が続き最上川は大洪水になった。どこの農家でも困りはて、天気まつりなどをして神社に祈願したそうだと。

何日も降り続いた雨も、ようやくあがつたある日、井出の若い衆が、田畑の見まわりに行った帰り道のことだそうだと。東の方から、月がこうこうと昇りはじめ、雲ひとつない夕方。草むらの水たまりから呼ぶような哀願するような声が聞こえてきた。驚いて立ちどまり、じいっと声のする方に近づいてみると、なにやら得体のわからない黒い物が、

「おぼろだ、おぼろだ(おんぶしてほしい)。」

と言つているようであつた。四、五人いた若い衆はその声を聞いて尻込みしたそうだと。その内の一人の若者は非常に気が強くて、「そんなにおぼろだいなら、ほら、おぼろちゃ。」

と言つて手をさしのべると、三尺ほどの丸太であつたそうだと。「なんだ、川流れのばいだ(薪)でねい。」

と言つて捨てようとする、手のようなものもあるし、足のようなものもある。

「これや、ちよつとまでや。」

と言つて他の若い衆を呼んで、月明かりでよく見ると、頭は丸く、目もある鼻もある、口もあるして、一体の仏像に変わったそうだと。若い衆は、

「これは大変なことだ。」「そまつにはさんない。」「もつたないない。」

と言つて、どうしたらいいか相談しあつたそうだと。「そんなにおぼろだ、おぼろだいと申されているのだから、おぼろだといところまでおぼろだいたらいいんねが。」

と相談がまとまつたそうだと。

氣の強い若者は、持つていたかます(わらむしろを二つ折りにして作った袋)に入れて、おんぶしてきたそうだと。

「おらだは井出村の若い衆だが、そつちの方でええが。」

と聞くと、

「それでけつこう、けつこう。のぞんだ所だ。」

と申されたそうだと。

村に近づいたので、

「(お)でええが、(お)でええが。」

と言つたと

「まだだ、まだまだ。」

と申されるので、おんぶしてきたそうだと、村の入り口に辻堂があり十王様を祀つてある所までくると、「ここであえ、ここであえ。」と申されるので辻堂の前におろし、皆で手を合わせお別れして帰つたそうだと。

それぞれの若い衆が家に着くなり、今日の出来事を話すと、またたくまに村中に広がりおさわわぎになつたそうだと。村の親方衆はじめ村中が集まり相談し、お寺の和尚さんに頼んでおんぶしてきた仏体を、浄水(きれいな水)で洗い清めたところ、立派なお地藏様であつた。和尚さんは、「苦勞なされてよくここまでたどりつかれた。お地藏様に風邪などひかれては大変だ。きれいな孤(あらく折つたむしろ)をお着せして十王様と一緒に祀ろう。」とありがたいお経をあげたそうだと。

その夜は、村中総出でかがり火をたいて通夜したと言ひ伝えられている。五十年前前までこの行事が続いていた。

今でも旧九月十六日(満月の日)は地藏様の大祭日としている。

延享時代、大石田町大庄屋高桑金蔵様の一人娘が大病にかかり、八方の名医にかかっても助かる見込みはないと診断されたそうだと。

ある夜のこと、大庄屋の枕元に地藏様が立ち寄り、「ぜんざい、ぜんざい、これなる私は、いつぞや、あなたの若い衆に難儀のところを助けられた地藏なるぞ。これより子育て地藏となり、あらゆる慈悲と念力をもつてあなたの娘を助けてしんぜよう。」と申されてすつと消えたそうだと。大庄屋は夜の明けるのを待たずに普門寺へ参り、祈禱を受け、一心に精進され、祈願されたそうだと。その甲斐あつてか、娘は日増しに元氣を取り戻し丈夫に成長したという。

高桑家はお礼にと改めて井出子育て地藏堂を建立し、辻堂の十王様と一緒に安置し再興されたと棟札に書いてある。

現在の堂宇は、昭和三十一年秋の台風で倒壊し、再々建したのである。幸いにして地藏尊本体等には少しの損傷もなかった。

○出典『大石田の」とむがす』(大石田の」とむがすの会発行)

「まだだ、まだまだ。」

と申されるので、おんぶしてきたそうだと、村の入り口に辻堂があり十王様を祀つてある所までくると、「ここであえ、ここであえ。」と申されるので辻堂の前におろし、皆で手を合わせお別れして帰つたそうだと。

それぞれの若い衆が家に着くなり、今日の出来事を話すと、またたくまに村中に広がりおさわわぎになつたそうだと。村の親方衆はじめ村中が集まり相談し、お寺の和尚さんに頼んでおんぶしてきた仏体を、浄水(きれいな水)で洗い清めたところ、立派なお地藏様であつた。和尚さんは、「苦勞なされてよくここまでたどりつかれた。お地藏様に風邪などひかれては大変だ。きれいな孤(あらく折つたむしろ)をお着せして十王様と一緒に祀ろう。」とありがたいお経をあげたそうだと。

その夜は、村中総出でかがり火をたいて通夜したと言ひ伝えられている。五十年前前までこの行事が続いていた。

今でも旧九月十六日(満月の日)は地藏様の大祭日としている。

延享時代、大石田町大庄屋高桑金蔵様の一人娘が大病にかかり、八方の名医にかかっても助かる見込みはないと診断されたそうだと。

ある夜のこと、大庄屋の枕元に地藏様が立ち寄り、「ぜんざい、ぜんざい、これなる私は、いつぞや、あなたの若い衆に難儀のところを助けられた地藏なるぞ。これより子育て地藏となり、あらゆる慈悲と念力をもつてあなたの娘を助けてしんぜよう。」と申されてすつと消えたそうだと。大庄屋は夜の明けるのを待たずに普門寺へ参り、祈禱を受け、一心に精進され、祈願されたそうだと。その甲斐あつてか、娘は日増しに元氣を取り戻し丈夫に成長したという。

高桑家はお礼にと改めて井出子育て地藏堂を建立し、辻堂の十王様と一緒に安置し再興されたと棟札に書いてある。

現在の堂宇は、昭和三十一年秋の台風で倒壊し、再々建したのである。幸いにして地藏尊本体等には少しの損傷もなかった。

○出典『大石田の」とむがす』(大石田の」とむがすの会発行)

「まだだ、まだまだ。」

と申されるので、おんぶしてきたそうだと、村の入り口に辻堂があり十王様を祀つてある所までくると、「ここであえ、ここであえ。」と申されるので辻堂の前におろし、皆で手を合わせお別れして帰つたそうだと。

それぞれの若い衆が家に着くなり、今日の出来事を話すと、またたくまに村中に広がりおさわわぎになつたそうだと。村の親方衆はじめ村中が集まり相談し、お寺の和尚さんに頼んでおんぶしてきた仏体を、浄水(きれいな水)で洗い清めたところ、立派なお地藏様であつた。和尚さんは、「苦勞なされてよくここまでたどりつかれた。お地藏様に風邪などひかれては大変だ。きれいな孤(あらく折つたむしろ)をお着せして十王様と一緒に祀ろう。」とありがたいお経をあげたそうだと。

その夜は、村中総出でかがり火をたいて通夜したと言ひ伝えられている。五十年前前までこの行事が続いていた。

今でも旧九月十六日(満月の日)は地藏様の大祭日としている。

延享時代、大石田町大庄屋高桑金蔵様の一人娘が大病にかかり、八方の名医にかかっても助かる見込みはないと診断されたそうだと。

ある夜のこと、大庄屋の枕元に地藏様が立ち寄り、「ぜんざい、ぜんざい、これなる私は、いつぞや、あなたの若い衆に難儀のところを助けられた地藏なるぞ。これより子育て地藏となり、あらゆる慈悲と念力をもつてあなたの娘を助けてしんぜよう。」と申されてすつと消えたそうだと。大庄屋は夜の明けるのを待たずに普門寺へ参り、祈禱を受け、一心に精進され、祈願されたそうだと。その甲斐あつてか、娘は日増しに元氣を取り戻し丈夫に成長したという。

高桑家はお礼にと改めて井出子育て地藏堂を建立し、辻堂の十王様と一緒に安置し再興されたと棟札に書いてある。

現在の堂宇は、昭和三十一年秋の台風で倒壊し、再々建したのである。幸いにして地藏尊本体等には少しの損傷もなかった。

○出典『大石田の」とむがす』(大石田の」とむがすの会発行)

「まだだ、まだまだ。」

と申されるので、おんぶしてきたそうだと、村の入り口に辻堂があり十王様を祀つてある所までくると、「ここであえ、ここであえ。」と申されるので辻堂の前におろし、皆で手を合わせお別れして帰つたそうだと。

それぞれの若い衆が家に着くなり、今日の出来事を話すと、またたくまに村中に広がりおさわわぎになつたそうだと。村の親方衆はじめ村中が集まり相談し、お寺の和尚さんに頼んでおんぶしてきた仏体を、浄水(きれいな水)で洗い清めたところ、立派なお地藏様であつた。和尚さんは、「苦勞なされてよくここまでたどりつかれた。お地藏様に風邪などひかれては大変だ。きれいな孤(あらく折つたむしろ)をお着せして十王様と一緒に祀ろう。」とありがたいお経をあげたそうだと。

その夜は、村中総出でかがり火をたいて通夜したと言ひ伝えられている。五十年前前までこの行事が続いていた。

今でも旧九月十六日(満月の日)は地藏様の大祭日としている。

延享時代、大石田町大庄屋高桑金蔵様の一人娘が大病にかかり、八方の名医にかかっても助かる見込みはないと診断されたそうだと。

ある夜のこと、大庄屋の枕元に地藏様が立ち寄り、「ぜんざい、ぜんざい、これなる私は、いつぞや、あなたの若い衆に難儀のところを助けられた地藏なるぞ。これより子育て地藏となり、あらゆる慈悲と念力をもつてあなたの娘を助けてしんぜよう。」と申されてすつと消えたそうだと。大庄屋は夜の明けるのを待たずに普門寺へ参り、祈禱を受け、一心に精進され、祈願されたそうだと。その甲斐あつてか、娘は日増しに元氣を取り戻し丈夫に成長したという。

高桑家はお礼にと改めて井出子育て地藏堂を建立し、辻堂の十王様と一緒に安置し再興されたと棟札に書いてある。

現在の堂宇は、昭和三十一年秋の台風で倒壊し、再々建したのである。幸いにして地藏尊本体等には少しの損傷もなかった。

○出典『大石田の」とむがす』(大石田の」とむがすの会発行)

町の人口 令和元年9月1日現在		
世帯数	2,348 戸	(-3)
総人口	6,998 人	(-21)
男	3,436 人	(-12)
女	3,562 人	(-9)
(8月中の異動)		
出生	1 人	転入 4 人
死亡	15 人	転出 11 人

※この数字は外国人数も含めた数字です。

楽がき帳

9月16日は敬老の日でした。満百歳になられた方へのお祝いの際に、長寿の秘訣は何でしょうかとお聞きすると、皆さんそれぞれの健康法があるのですが、ほとんど共通して返ってくる答えもあります。「好き嫌いなく、なんでもよく食べること」。しっかりと食べるのが、何よりも大事ということですね。

ここ10日ほどで、あんなに暑かったのがうそのように涼しくなり、夏バテ気味で落ちていた食欲も少し回復してきました。体重も落ちたので維持したいところですが、健康のためなら仕方ない、食欲の秋を満喫したいと思います。

(あ)

